

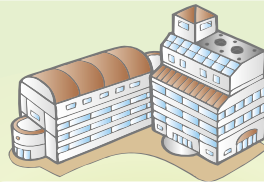


● ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進

一人一人が輝く 支援籍学習

～子どもたちの限りない成長を願って～

支援籍とは



小・中学校

小・中学校に在籍する子どもたちが、通常の学級と特別支援学級との間で必要な学習に参加します。

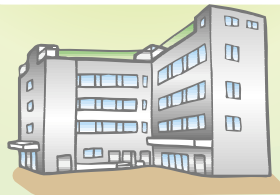
小・中学校の
通常の学級

小・中学校の
特別支援学級

特別支援学校に在籍する子どもたちが、小・中学校の学習に参加します。

特別支援学校

小・中学校に在籍する子どもたちが、特別支援学校の自立活動などの専門的な学習に参加します。



支援籍では、障害のある（特別な教育的ニーズのある）子どもたちが、在籍する学校または学級以外にも籍を置いて、必要な学習活動を行います。



埼玉県のマスコット
「コバトン」

平成22年3月
埼玉県教育委員会



1 支援籍には3つの形態があります

① 通常の学級での支援籍

特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちが、小・中学校の通常の学級で学習を行います。

運動会や文化祭、音楽、体育、生活、総合的な学習の時間などに参加し学習します。

② 特別支援学級での支援籍

通常の学級に在籍する子どもたちが、小・中学校の特別支援学級で学習を行います。

通常の学級での支援に加えて、より特別な支援が必要な場合、個別に専門的な学習をします。

③ 特別支援学校での支援籍

通常の学級や特別支援学級に在籍する子どもたちが、特別支援学校で学習を行います。

障害に基づく困難を改善するための専門的な学習（自立活動等）をします。

2 支援籍による学習場面（具体例）

通常の学級での支援籍



小学校：図画工作の授業



小学校：音楽の授業



小学校：楽しい給食



中学校：書写の授業



小学校：入学式に出席



小学校：帰りの会で発表



中学校：合唱祭に参加



小学部：自立活動の授業（足を整える学習）



中学部：自立活動の授業（目と手の使い方の学習）

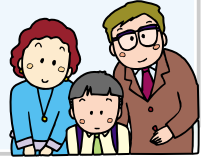
特別支援学校での支援籍



3 支援籍学習の感想など

支援籍を実施した保護者の感想

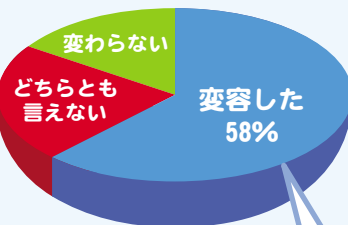
- ・子どもの存在を知ってもらえる機会ができ、また同年齢の子どもたちと触れ合うことができうれしかったです。この経験を通して本人に少し自信がついたように感じました。また、街で地域の子どもたちに出会うと声をかけてくれるようになりました。地域で生活しているという実感が得られました。
- ・特別支援学校の自立活動の授業に参加し、子どもがどういうことに困っているのかがよく分かりました。また、家庭でできる子どもへの支援の仕方をていねいに教えて頂きました。



保護者アンケートより

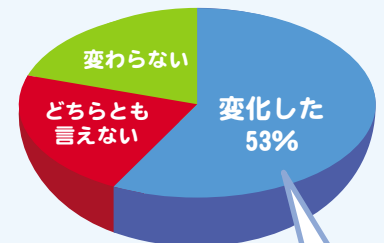
県内全ての県立特別支援学校の小・中学部の保護者に、通常学級支援籍についてアンケート調査を行いました。その中の主な3点について紹介します。

● 支援籍学習後の子どもの変容



主な変容として、「自信が出てきた」「積極性が出てきた」「障害に対する自覚が出てきた」「大勢の集団でも平気になった」など。

● 支援籍学習後の保護者自身の気持ちの変化



主な変化として、「支援籍校の子どもたちや先生の受け止め方、学校の様子に安心した」「もっと地域に参加したい気持ちになった」など。

- 支援籍を通しての保護者の願いとしては、次の3点が全体の6割以上を占めました。
「小・中学校の子どもたちや先生方に障害を理解してもらいたい」「地域で生活するための基盤を作っていきたい」「子どもの経験の幅を広げていきたい」

4 支援籍を希望するには

まずは担任の先生に相談を！

- まずは、担任の先生に相談してみましょう。
- ・ 支援籍への第一歩がそこから始まります。
- ・ どんなことでも、わからないことは遠慮なく聞いてみてください。
- ・ 相談することで、イメージや見通しがもててきます。
- ・ 相談を通して、お子さんに合った支援籍の在り方を一緒に考えていきます。

まずは相談
してみましょう！



在籍する県立特別支援学校、
市町村立小・中学校に希望を出す

- ・ 通常学級支援籍
- ・ 特別支援学級支援籍
- ・ 特別支援学校支援籍



調整

支援籍の
実施

教育委員会、相手校と調整

市町村教育委員会
市町村立小・中学校

県教育委員会
県立特別支援学校

支援籍学習に関する Q & A

Q 支援籍学習は誰ができるのですか。

A 小・中学部（小・中学校）に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒であれば、基本的に誰でもできます。

Q 支援籍学習はどここの学校ですか。

A 居住地の通学区域の小・中学校（特別支援学校）でおこないます。

Q どんな障害があっても支援籍の対象になるのですか。

A 対象になります。実施に向けて、本人の健康に十分留意しながら、担任の先生と相手校との間でよりよい支援籍の在り方を調整していきます。

Q 年度の途中から支援籍を希望することはできますか。

A 年度の途中からでもできます。担任の先生によく相談してみてください。希望を出されたところから教育委員会、相手校との調整に入ります。

Q 通常学級支援籍の学習内容と学習時間を教えてください。

A 相手校の学習計画に沿った内容にそのまま参加したり、双方の学校の話し合いにより、児童生徒の交流を深めるための内容を計画することがあります。時間は、個々のお子さんにより1時間から1日と様々です。

Q 支援籍学習の送迎について教えてください。

A 子どもさんの様子などについて、保護者の方と相談をしながら、より良い方法を考えていきます。現時点では保護者に送迎をお願いするケースが多く、また、福祉サービスや地域ボランティアを活用したケースもあります。

支援籍関係のホームページ：埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課

◎ URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/s10/>

- ◆ 支援籍について
- ◆ 支援籍指導資料～支援籍学習を効果的に進めるために～
- ◆ 支援籍学習実施要領
- ◆ ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進とは
- ◆ ノーマライゼーション教育推進実践事例集
- ◆ ノーマライゼーション指導教本
- ◆ ノーマライゼーション教育推進研修会資料、他

本資料についての問い合わせ先



埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課

〒 330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6880 FAX 048-830-4960

URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/s10/>